

麵喰いのお作法

大森 海太

その昔現役のころ、仕事で来日したアメリカ人を、昼めしでソバ屋に連れて行ったときのことである。

注文したのはカケソバだったか、目の前に出されたどんぶりを前にしてアメリカ人はしばし考え込んでいたが、やがて意を決したとみえ、ぎこちない手つきで箸をとる。まわりの客たちがどんぶりを片手に、ソバとツユといっしょにズルズルとすすりこんでいるなかで、彼はソバだけをつまんで音をたてずに口に入れていく。食べ終わるとちよつと迷っていたが、いきなり両手でどんぶりを持って残ったツユを一気に飲みほし、ニヤツと笑って「ベリーグッド」と言った。

西洋の食卓マナー「音をたてて食べない、食器は手に持たない」ということを彼は守ったのだろう（最後のツユ一気飲みは苦しまぎれのジョークか）。でも我々から見ればこんな食べ方じゃ旨くないだろうと思うのだが。

ところでスパゲッティを食べるときは、テーブル上の皿にある麺をフォークからめて口に入れる。伊丹十三のエッセイによると、少量のスパゲッティに垂直にフォークを立ててクルクルまわすと適量のかたまりになり、それを静かに口に運ぶのだそう
だ。

近ごろは左手に持ったスプーンの上にスパゲッティを乗せ、右手のフォークでからめて食べている人を見かける。もっともこんなお上品な食べ方は本場のイタリア人はしないだろう。

麵が好きな私は自宅でもよくスパゲッティを食べる。

昼めしはスーパーかコンビニ品、夜は自分で麺を茹でて市販の pasta ソースをかけまわす。わりと手軽に作れるし、これ一皿で結構なボリュームになるので便利だ。

問題はその食べ方。以前はマナー通りにフォークを用いていたが、あるときなんだ、ウドンやソバと同じじゃないか、箸で食べてなにが悪い！

ということまで皿を持ちあげてズルズルとかきこんだところ、イヤこの方が気楽で旨いし、「喰ったあー」という満足感がえられる。

でもこれはウチではあさんと二人のときだけ。そこでは絶対にやらない。